

科目名	臨床実習Ⅲ					
分野	専門分野	担当教員	馬場 泰行			
開講時期	2学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	45					1
科目の概要	問診、視診、触診、関節可動域の測定、徒手検査法等を正しく理解、習得し柔道整復師としての治療技術向上に励む。					
学習の到達目標	診察技術を向上させ、それに基づく治療計画と的確な治療の実施につなげることを目標とする。					
成績評価の方法と基準	出席評価、筆記試験					
使用テキスト	柔道整復学(理論編・実技編)					
参考文献	特記事項なし					
講義計画	講義内容					
1	「痛みとはⅠ」(痛み発生のメカニズム)					
2	「痛みとはⅡ」(痛み発生のメカニズム)					
3	「痛みとはⅢ」(痛み発生のメカニズム)					
4	「関節可動域測定の目的」					
5	「痛みを診察Ⅰ」とROM測定					
6	「痛みを診察Ⅱ」とROM測定					
7	ROM測定(肘関節の屈伸)					
8	ROM測定(腰部)					
9	ROM測定(股関節部)					
10	ROM測定(足関節部)					
11	エコー診断法Ⅰ					
12	エコー診断法Ⅱ					
13	エコー診断法Ⅲ					
14	復習確認テスト					
15	徒手検査法の概説					

16	徒手検査法Ⅰ(肘部・手部)
17	徒手検査法Ⅱ(全体復習)
18	徒手検査法Ⅲ(頸部、胸郭出口症候群の確認)
19	徒手検査法Ⅳ(腰部、股関節の確認)
20	徒手検査法Ⅴ(筆記テスト①)
21	徒手検査法Ⅵ(筆記テスト②)
22	筋硬度計を用いた実技
23	各手技法による身体の変化Ⅰ
24	各手技法による身体の変化Ⅱ
25	各手技法による身体の変化Ⅲ
26	各手技法による身体の変化Ⅳ
27	ストレッチング療法Ⅰ(頸部)
28	ストレッチング療法Ⅱ(肩部)
29	ストレッチング療法Ⅲ(上肢)
30	ストレッチング療法Ⅳ(体幹)